

2012年

## 年頭のごあいさつ



NPO 法人京滋マンション管理対策協議会  
代表幹事 谷垣千秋

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、管対協の創立30周年を迎え、12月4日には記念行事としてシンポジウム及び記念式典・パーティーを催しましたところ、両行事とも180名に上る多数の皆さまにご出席をいただき、大変有意義且つ楽しい行事にさせていただきました。このように多くの皆さまから祝福していただきましたことは、管対協をここまで発展させていただいた歴代の幹事様をはじめとする諸先輩ならびに会員の皆さま及びパートナー企業の皆さまのご尽力があって、管対協が相応の社会的責任を果たしてきた結果であると思います。

会員の半数を占める高経年マンションの問題、とりわけ「二つの老い」の克服が、管対協にとって最重要な課題であることは、本年も変わりません。その上に、今年は再び標準管理規約の改正が予定され、区分所有者主体というわが国マンション管理の基本が大きく揺れようとしております。管対協は、これまで30年にわたって掲げてまいりました住民主権・住民自治というポリシーをしっかりと堅持し、「住んで良かった」といえるマンションにしていくために、本年も会員の皆さまと共にがんばってまいりたい決意でございます。